

(学生 → 企業様等 → 大学)

平成23年度

# 企業実習日誌

(インターンシップ)

所属	マネジメント学群・学部 システム工学コース	学籍番号	1130447	氏名	新谷 裕也
----	--------------------------	------	---------	----	-------

実習企業名	高知県議会議員 依光晃一郎事務所
実習期間	平成 23年 6月30日 ~ 9月27日

実習生 企業担当者名	依光晃一郎	印
---------------	-------	---



高知工科大学

KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

# 実 習 報 告

1. 今回の実習にあたり設定したテーマ・演題は何ですか。

今回の実習では積極性とコミュニケーション力の向上をテーマにして取り組めました。なぜかという、私には積極性に欠ける部分があるからです。発表など挙手で意見を言わなければいけない部分で他人の方に頼ってしまうことがあります。他人に頼ることは、自分の思っていたことを発表し、終わってしまうケースが増えています。なのでインターンシップでは、自分の考えていることを提案すると言わなければならないし、就職するにあたって積極性が欠けているとマイナス面に加えてくると思っていて、このコミュニケーション力については、ある程度は自分の考えが伝わることを、自分の考えがうまくまとめて話せているとは思っていません。なので、たくさんの方に接する機会が77いと考えられるので、自分の考えをうまく伝えることが出来るようなきっかけを作りたいと考えています。積極性が向上すると自分から話しかけることもできたり、相手とのコミュニケーションがスムーズになるので、積極性の向上はコミュニケーション力の向上にもつながる。自分の評価を上げていくことも含まれていると思っております。

2. 上述のテーマ・課題に対してどのような成果を得ましたか。

テーマである積極性については、草刈りなどの体験の時に地場の方と一緒に話す機会があり、草の処理の仕方などについて話をすることが出来た。また、名刺交換することがあったが、相手の名前や住所などがわからなかったり、その場で話しかけたいという気持ちがあったので、そこでコミュニケーションが出来、良い交流ができた。自ら積極的に話しかけると、向こうの亦も心良く話を聞かせてくれたりと、こちらから積極的にいく大切が分かった。その他では、自らの調べたことについて研究を行いました。そこでは、地場支援企業一覧のJA高知中央会の方を紹介してもらいました。紹介してもらった方は、自ら連絡をとり、相手の亦の予定なども考慮して、アポイントメントをとり、予定を立てました。今までは人に頼るばかりで、他のアポイントメントを決めようという連絡をとってもらうと、自分も多岐にわたる。今回は自ら動くことが出来、積極性やコミュニケーション力と関係が、インターンシップ前と後で大きく変化が認められた。今回の実習で、テーマである積極性や

3. 設定したテーマ・課題のほかに、今回実習で発見したことは何ですか。

インターンシップは自分の考えや思いを担当者の言に伝えることが大切であることがわかりました。何かを語ることは大切で、このインターンシップの目標もきちんと話すと担当者の期待も高まるので、自分から積極的に話さなければいけません。私は、最初は緊張して話さず、口に出して話すことがあつたので、インターンシップでいろいろな経験をすることができました。また、その目標に向けて努力することができ、それが、人とのつながりができたので、いろいろな出会いがもたらした経験が、おもしろい。

4. 今後の学習や大学生生活を進める上で、実習はどのような効果・影響を与えましたか。

この実習が、自分の成長に、そこでのつながりを大事にしたいと思いました。また、インターンシップを通して、いろいろな人と出会うことができた。人との交流が、また、いろいろなつながりができていくことができました。大学は、語を普通に過ごしていくだけでいい、いろいろな出会いが、自分自身に、インターンシップが、考えや思いを、自分自身に、おもしろい。また、その他では、今回は東京で研修できることができて、そこで全国の大学生の、インターンシップでの活動について、同じ世代の方が、高い目標で、いろいろなことを知り、更に元気を、おもしろいと感じました。

5. その他、実習中に職場で感じたことは何ですか。

職場というおぼろげな場所での活動が、自分自身に、職場の、いろいろな議論の、大変さが、わかりました。また、いろいろな場所で、活動したり、話したりすることの、大変さが、わかりました。しかし、議論の、傍聴に、いった時の、いろいろな、議論の、重要性が、わかりました。いろいろな議論について、自分自身の、考えや、決める、話し合いの中で、話しを、聞くことの、大切さ、それに対する、自分の、考えや、重要性などが、実感することが、できました。やはり、体感せず、自分の、考えだけで、判断することは、あまり、良い方法で、なく、実際に、出向いて、その、場で、感じた、ことを、基準に、することが、大事だ、と思います。いろいろな、交流の、ある、職場で、自分の、考えや、思いを、伝える、ことに、職場は、大事な、場所、である、と感じました。

(学生 → 企業様等 → 大学)

平成 年度

# 企業実習日誌

(インターンシップ)

所属	マネジメント 学群・学部 システム工学コース	学籍番号	1130499	氏名	宮崎 ゆうき
----	---------------------------	------	---------	----	--------

実習企業名	県議会議員 依光晃一郎事務所
実習期間	平成 23 年 6 月 30 日 ~ 9 月 10 日

実習生 企業担当者名	依光 晃一郎	印
---------------	--------	---



高知工科大学  
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

# 実 習 報 告

1. 今回の実習にあたり設定したテーマ・演題は何ですか。

今回のインターンシップ担当の方が県議会議員でありながら、高知県の地域活性化に力を入れている方であるのに、議会という枠に留まらず、自分の学びの場を広げることをテーマに掲げる。

1. 地域の方々とお話することで、地方が抱える問題とその現状を把握すること。
2. 議員の方々との対談では、積極的に自らコミュニケーションを図り、政治に関わる知識を増やすこと。
3. 東京で行われる地域イシューチャレンジ実践では、全国の同世代が考えた地域活性化に関するプレゼンを聞き、自分の見識を広め、今後の学習に活かすこと。

上記の3つを今回のインターンシップの課題にする。

2. 上述のテーマ・課題に対してどのような成果を得ましたか。

1. 地方では、少子高齢化が急速に進んでいる。その背景には若者の流出ばかりでその数が多く、小学校、中学校が相次いで閉校になり若者の活動の場が無く、高齢者が多かった。この現状を目のあたりにし、我が国に出来ることはないか考えるきっかけとなった。また、その地域活性化のイメージを後述する東京でのイベントで具現化出来た。

2. このテーマに関しては課題に残るインターンシップであった。緊張のあまり自分から積極的にコミュニケーションが取ることが出来ず、貴重で対談の時間を最大限に活かすことが出来なかった。このことにより、自分のコミュニケーションの拙さを痛感し、これから先、向上しなければならぬスキルだと思った。これから軌道修正が出来るので、自分の弱さを発見できたことが大きな成果となった。

3. 東京で行われたイベントでは、同世代と思えば何ほどの素晴らしいイベントで高知県では受けることは出来ず、自分からの強い刺激を受け、様々な視点からの地域活性化に関する案を思いつくことが出来、相対的なイメージが具体的に思い浮かぶだけでなく、地域活性化に対する私自身の考えの幅が広がった。

3. 設定したテーマ・課題のほかに、今回実習で発見したことは何ですか。

今回の実習で「人との繋がり」の大切さを改めて実感することができた。繁藤に居る方々、県議会議員の方、地域非営利団体のみなさん、県庁イベントを開催している方々など様々な方々との出会いがあった。インターンシップでは、この短い期間で出会った方々のことを忘れず、今後もし縁があれば連絡を取り合うなどしてずっと繋がってほしいと感じました。

4. 今後の学習や大学生活を進める上で、実習はどのような効果・影響を与えましたか。

今回のインターンシップを通じて、「地域活性」について学ぶ機会が多かった。この地域の抱える問題を現状をこれまで以上に考えるようになった。実際は繁藤でも人口が減少を続けて、地域の方々の思いなどを直接聞け、私たちが学習に何か協力することができると考えるようになった。これをきっかけに、卒業研究では地域活性化に関連する研究を行いたいと考えている。繁藤は大学や高校の閉校などと共に若者の流出が増加し、地域がより将来無くなっていくような危機に陥っている。実際にこの現状を自分の肌で感じることができ、更に地域に関する知識を身につけ、自分で小規模でもよいから地域復興に繋がる活動を行いたいと思うようになった。

5. その他、実習中に職場で感じたことは何ですか。

今回のインターンシップ担当の方々が、明確な意識を持って行動的で人柄が良い方々だったので、私自身も楽しくかつやりがいのあるインターンシップを行うことができた。県議会議員でありながら、学生のインターンシップを受け入れ、課題としている「地域の抱える問題」を丁寧に分かりやすく私達なりに教えてくれた。その配慮が伝わり、私もこれまで以上に地域活性に興味を持つようになった。そのきっかけを作ってくれたのがこのインターンシップだったので、今改めてこのインターンシップ先を希望して良かったと実感している。これにより、また新たな自分を見つけたし、更に成長していくように努力を続けていこうと考えています。素晴らしい環境の中でインターンを行うことができたので感謝しています。

(学生 → 企業様等 → 大学)

平成 年度

# 企業実習日誌

(インターンシップ)

所属	イネジメイト 学群・学部 システム工学コース	学籍番号	1130513	氏名	山本恭平
----	------------------------------	------	---------	----	------

実習企業名	
実習期間	平成 年 月 日 ~ 月 日

実習生 企業担当者名	依光晃一郎 印
---------------	---------



高知工科大学  
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

# 実 習 報 告

1. 今回の実習にあたり設定したテーマ・演題は何ですか。

今回の実習の演題は「地域活性化の取り組み」です。地域活性化の重要性を理解し、その実践方法について学びたいという思いから、このテーマを設定しました。具体的には、地域活性化の現状、課題、そして今後の展望について学びたいと考えています。

集りの手紙を通して、地域活性化の取り組みについて学びたいという思いから、このテーマを設定しました。地域活性化の重要性を理解し、その実践方法について学びたいという思いから、このテーマを設定しました。具体的には、地域活性化の現状、課題、そして今後の展望について学びたいと考えています。

東京実習では、地域活性化の取り組みについて学びたいという思いから、このテーマを設定しました。地域活性化の重要性を理解し、その実践方法について学びたいという思いから、このテーマを設定しました。具体的には、地域活性化の現状、課題、そして今後の展望について学びたいと考えています。

2. 上述のテーマ・課題に対してどのような成果を得ましたか。

地域活性化の重要性を理解し、その実践方法について学びたいという思いから、このテーマを設定しました。地域活性化の重要性を理解し、その実践方法について学びたいという思いから、このテーマを設定しました。具体的には、地域活性化の現状、課題、そして今後の展望について学びたいと考えています。

集りの手紙を通して、地域活性化の取り組みについて学びたいという思いから、このテーマを設定しました。地域活性化の重要性を理解し、その実践方法について学びたいという思いから、このテーマを設定しました。具体的には、地域活性化の現状、課題、そして今後の展望について学びたいと考えています。

東京実習では、地域活性化の取り組みについて学びたいという思いから、このテーマを設定しました。地域活性化の重要性を理解し、その実践方法について学びたいという思いから、このテーマを設定しました。具体的には、地域活性化の現状、課題、そして今後の展望について学びたいと考えています。





(学生 → 企業様等 → 大学)

平成 年度

# 企業実習日誌

(インターンシップ)

所属	マネジメント 学群・学部 システム工学コース	学籍番号	1130417	氏名	大石美里
----	------------------------------	------	---------	----	------

実習企業名	県議会議員依光晃一郎事務所
実習期間	平成 23 年 6 月 30 日 ~ 9 月 11 日

実習生 企業担当者名	依光晃一郎 印
---------------	---------



高知工科大学  
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

# 実習報告

1. 今回の実習にあたり設定したテーマ・演題は何ですか。

今回の実習にあたり設定したテーマは「コミュニケーション能力を高めること」。

普段は外見に似ている人見知りな特定の人の話を聞くことでお互いの人数が  
工科大学に3年通った1年が経つ頃になると変わらないうえ、就活も始まる。

おのれ人とコミュニケーションを交わすのは大変だと感じることが多い。

議員会やワークショップなどで大人との関わりが深くなると思っていたけれど

思っていたよりは大人との交流は多く同年代の人との交流が濃く予想よりは

リラックスして親ばかを深めることができた。

依頼されたら各自1人テーマを決めると言われ、悩んだが自分で決めたテーマの

おかげで「地味紹介」をテーマにするとし、地味をいかに面白く紹介

するために地味のお話をすることができた。

2. 上述のテーマ・課題に対してどのような成果を得ましたか。

今回の実習を通して、工科大学の他に私立大学の先輩と立命館大学の  
の先輩とつながる機会があり、お話を聞く学生と交流を深めることができた。  
先輩と1ヶ月の石原沙織さんのお話を聞いた時に初めてお話を聞いた先輩  
さんがとても優しく話を聞いてくれて、仲良く話せることができた。

しかし、普段は私に話を聞いてくれる人が少ないので、お話を聞いて、お話を聞いて

すぐにわかるというよりは、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

目標を達成するために、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて、お話を聞いて

3. 設定したテーマ・課題のほかに、今回実習で発見したことは何ですか。

地域に情熱を注いでいる人は本当にたくさん輝いています。  
依光さんに東京で初めて「地域とまちづくり」の「実践2011」に参加して行っていた時に  
見た全国から集まった、学生、企業、自治体の熱いプレゼンがすごく胸にグッと  
きました。一番印象に残っているのは、100パーセントインターシップをしたのが、  
私のインターシップの中でスーパーのインターシップとは品出しなどの普通な想像の  
外の役割で、プレゼンでのスーパーのインターシップは、どうせかまかえとの競争が  
強いからか、考えを押し出すために社員、経営、現場の人間への了解をもらうに  
働いている。私が思っていたスーパーのインターシップとは全然違うもので  
面白かったです。

4. 今後の学習や大学生生活を進める上で、実習はどのような効果・影響を与えましたか。

プレゼンテーションはちゃんとした敬語でないとダメだと気づいた。また、  
言葉遣いもちゃんとしないとダメだと気づいた。何人かの人から、  
本当に忙しそうしているのに代わかってきて悪いところが多いと  
私たちに本当に伝えなければいけないことは、まじめにやらなければならない  
ことだと思いました。

5. その他、実習中に職場で感じたことは何ですか。

議事録の役割は高い。みんなが自分の仕事をやってもらうと  
体感が違うなと思いました。また、会議に極力参加するように  
練習地が決められていたり毎日行ったりする。

依光さんのいい意味で異色の議事録をいただきました。  
「議事録は、会議の目的や仕事と、各部署を動かす」として  
在りて議事録はいいと思いました。